まきばでひとやすみ

まだ6月のうちに真夏のような日が続いてびっくりしましたね。まだ夏はこれからというのに、これが2ヶ月も続いたらどうなってしまうのかしらと頭がクラクラしそうでした。でも、気温も陽射しも夏そのものなのに、まだ紫陽花がきれいに咲いてたり、セミの声が全くしないために、何となく妙な、しっくり来ない気分でした。季節にはその季節ごとに合った植物や生き物もセットで記憶に刻まれているんだなあ、なんてことをしみじみ感じたのでした。四季の移ろい、彩りを目にする度に神様のセンスに脱帽するのです。

しかし！子どもたちにとってはあまり四季など関係ないのですねえ。4月だろうが、多少涼しかろうが目の前に川があれば川に入り「夏休みだっけ…？」というような光景が繰り広げられます。暑かった6月後半も既に「夏休み」先取りな様子で川や庭プールで大はしゃぎする様子に「今日は8月何日だっけ…」と思うのでした。ちなみに我が家の中1男子、小1女子と同じレベルで遊んでいます。小4男子と3人でワーワーキャーキャーそれはそれは楽しそう。幼いというのか無邪気というのか…でもこうして仲良く遊んでられるのは何より幸せなことだと思いました。これがいつまで続くだろう、と考えてふと淋しくなったり。高校生になっても別にこのままでもいいぞ！と思ったり。同じレベルでケンカや小競り合いはさすがにもうやめてほしいですけどね。

夏休みになって一緒に過ごす時間が増えると増える「小競り合い」！どの家庭でも悩みのタネではないですか…みことばを学びっつ、何故それは改善されぬ!?と思わず怒りたくなるという愚かなサイクル。ああどうか神様の平和が家庭を支配しますように～！と祈る7月の始まり。